

津山中央病院 連携広報誌

2023年

6月号

メディネット

Vol.236



まきばの館の新緑（久米郡美咲町）

撮影 徳田名誉院長

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

Topics

新型コロナウイルス感染症の 5類移行について

新型コロナウイルス感染症 の5類移行について

津山中央病院
総合内科・感染症内科 部長

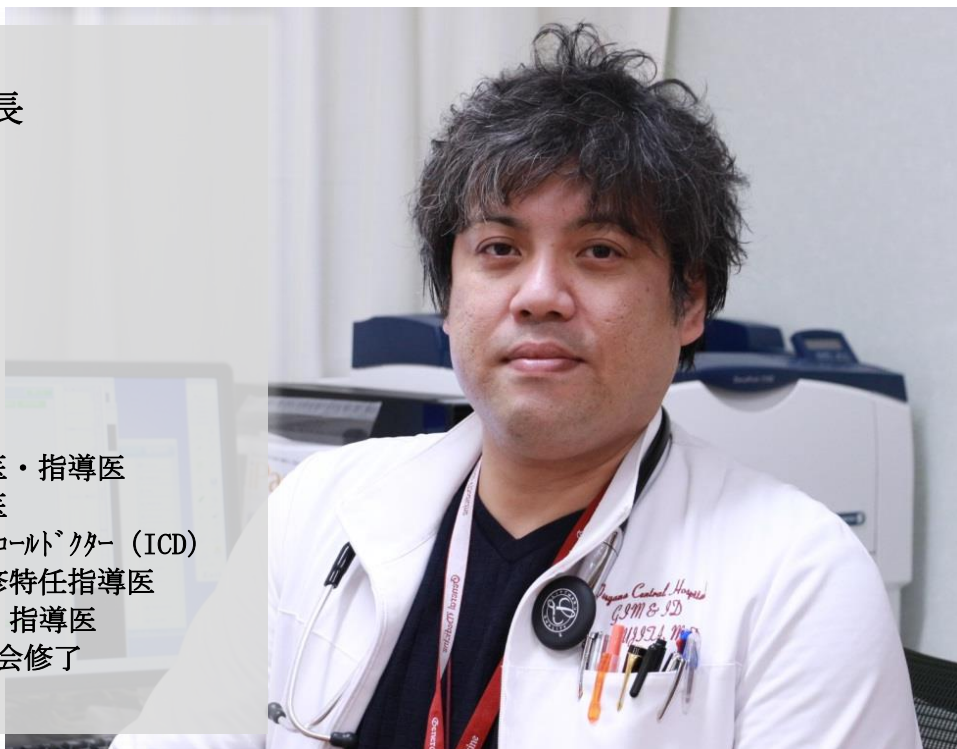
藤田 浩二

専門領域

・内科全般・感染症診療全般

専門医・指導医

- ・厚生労働省指導医
- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本内科学会認定総合内科専門医・指導医
- ・日本感染症学会認定感染症専門医
- ・日本感染症学会認定インフェクションコントロールクター（ICD）
- ・日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医
- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
- ・臨床研修プログラム責任者養成講習会修了
- ・岡山県クラスター対策班専門家



2019年から始まった新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19）のパンデミックはようやく1つの分岐点に来ました。WHOは2023年5月5日をもって緊急事態宣言を終了することを発表し、日本でも2023年5月8日に2類指定感染症から5類指定感染症へ移行しました。これにより、これまで COVID-19 の罹患や濃厚接触により強いられてきた隔離も無くなり、それ以外にも多くの行動制限も解除されました。

ただ、新型コロナウイルスが消滅し COVID-19 という疾患がこの世から消えた訳ではありません。単に人間のルールの中で法律上5類指定感染症に移行し、タイムリーな感染者数の全数把握から定点報告になることで『見える化』されていたものが『見えない化』されただけに過ぎません。2類指定期間の最後の全数把握（2023年5月3日現在）から見る岡山県のエリア別の発生動向ではゴールデンウィーク半ばで患者の数は横ばいから微増でした（図1）。

感染状況・医療提供体制の分析(5月3日時点)				【岡山県専門家有志】 詳細 (東京都統括コメント参照)	QRコード	
区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (4月28日時点)	現在の数値 (5月3日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	633人 (33.7人)	632人 (33.7人)	→	レベル1. 感染者数は一定程度にとどまっている 陽性者は 人口10万人当たり33.7人 と横ばい。季節性インフルエンザ注意報発令継続中。全国的には横ばいから緩やかな増加傾向。連休中のため正確な流行状況の把握は難しいが、人流や接触機会が増加したことによる影響は注視が必要。体調不良時は外出しない、高齢者や基礎疾患のある方にはうつさないようにするといった心がけや、状況に応じた(感染を広げないため、感染から身を守るため等)マスクの適正使用が必要。
		60歳以上 (総数に占める割合)	153人 (24%)	141人 (22%)	→	
	②保健所別新規陽性者数	岡山市保健所	268人	262人	→	
		倉敷市保健所	142人	127人	→	
		備前保健所	49人	59人	→	
		備中保健所	60人	47人	→	
		備北保健所	41人	13人	→	
		真庭保健所	4人	20人	→	
美作保健所	41人	64人	→			
その他	28人	40人	→			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	21人 (3%)	23人 (4%)	→	レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる 入院患者数は大きく変わらず。医療提供体制としては落ち着いた。	
	④宿泊療養者数	5人	12人	→		
	⑤自宅療養者数	579人	631人	→		
	⑥重症者数	2人	1人	→		

図1：2023/5/3 現在の流行状況
<http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/?p=4801p=4801>

現在は、推定値での流行状況の把握ですが、モデルナ社が公表しているデータからは、強烈な第9波ではないですがゴールデンウィーク前後で再度患者数が増えていることが伺えます(図2)。

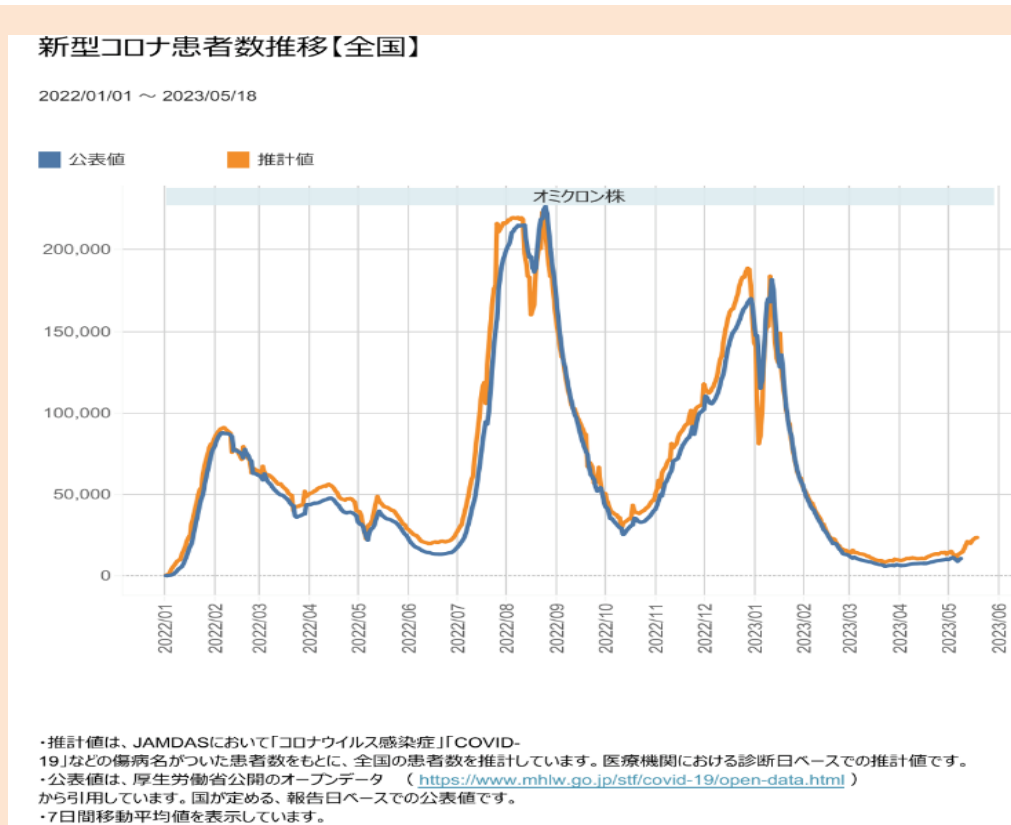


図2：モデルナ社公表データ
https://public.tableau.com/app/profile/.10981632/viz/_16823360497460/COVID-19_10

ウイルスの感染力、重症化率などは何も変わっていませんし、引き続き年中無休で COVID-19 は、数字上は見えない形で密かに続くことでしょう。ただ、騒ぐ必要はないと思います。要は緩急つけて、締めるところは締めて行けばよいのだと思います。つまり、普通の風邪にしては症状が重いとはいえ、重症化リスクの低い人は無治療で自然治癒する疾患です。高齢者や、一部の重症化リスクの高い人だけが入院が必要な病態に悪化したり命を落としたりしていることをしておく必要があります。多くの人の記憶に新しい第8波の岡山県の12月のデータを引用すると、この1ヶ月間で、把握されているだけで新規患者総数76,015人、入院患者総数2,309人(入院率:3%、1日平均約74人の入院ベッドが必要)、死亡総数121人(致死率0.15%)になります。また、以下の日本全体のデータが示す通り、死者や重症者が極端に高齢者(基礎疾患も多い)に偏っていることがわかんと思います(図3・図4)。

性別・年代別死亡者数（累積）（2023年1月17日）

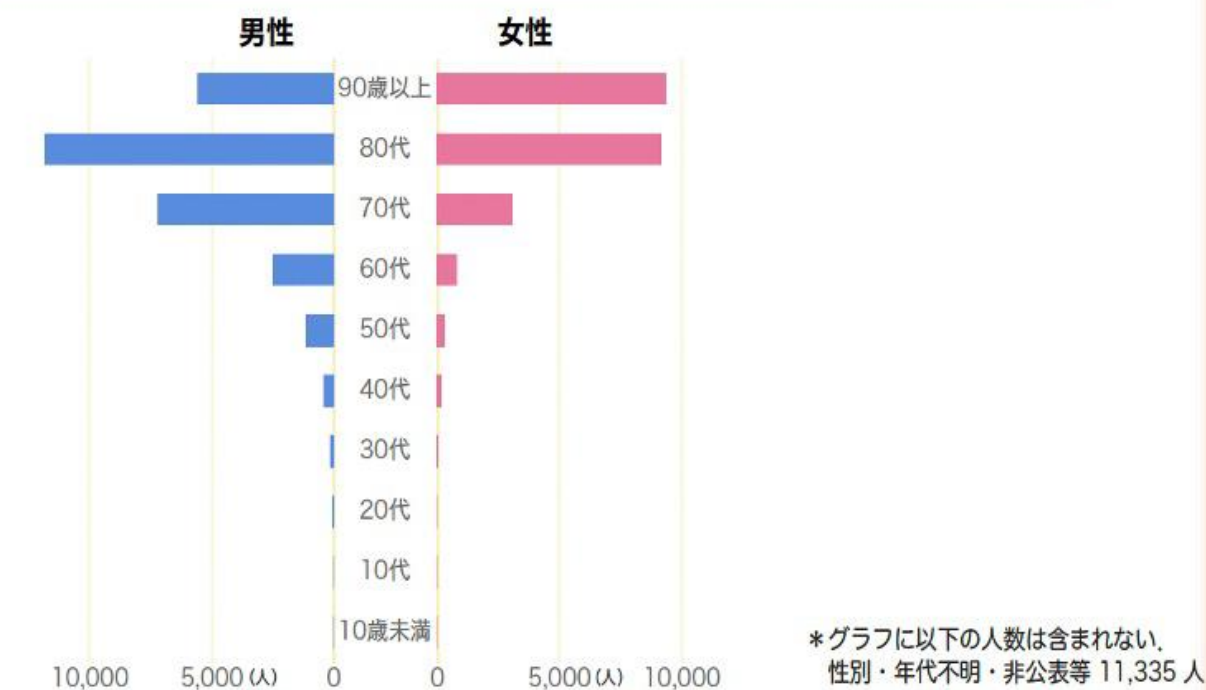


図3：性別・年代別死亡者数（累積）

		重症化率 (95%信頼区間)			致死率 (95%信頼区間)		
		60歳未満	60・70歳代	80歳以上	60歳未満	60・70歳代	80歳以上
新型コロナ	2021年7～10月	0.56% (0.47-0.65)	3.88% (3.12-4.77)	10.21% (7.65-13.27)	0.08% (0.05-0.12)	1.34% (0.90-1.91)	7.92% (5.66-10.70)
	2022年1～2月	0.03% (0.02-0.04)	1.22% (1.03-1.43)	5.04% (4.51-5.62)	0.01% (0.00-0.01)	0.70% (0.56-0.87)	4.57% (4.06-5.12)
	2022年3～4月	0.03% (0.02-0.04)	0.79% (0.63-0.99)	3.50% (2.91-4.17)	0.01% (0.00-0.01)	0.43% (0.31-0.58)	3.12% (2.56-3.76)
	2022年5～6月	0.01% (0.01-0.03)	0.34% (0.21-0.51)	1.66% (1.18-2.26)	0.00% (0.00-0.01)	0.14% (0.07-0.27)	1.53% (1.08-2.12)
	2022年7～8月	0.01% (0.01-0.02)	0.26% (0.22-0.31)	1.86% (1.68-2.06)	0.00% (0.00-0.01)	0.18% (0.15-0.23)	1.69% (1.51-1.88)
【参考】							
	季節性インフルエンザ	0.03%	0.37%	2.17%	0.01%	0.19%	1.73%
	新型インフルエンザA (H1N1) pdm2009	0.01%	0.05% (60歳代)	0.07% (70歳以上)	0.001%	0.015% (60歳代)	0.028% (70歳以上)

図4：重症化率・致死率
厚生労働省資料より <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001027743.pdf>

つまり、色で例えるなら COVID-19 の色の濃さがまるで違うハイリスクな集団が必ずどこかに存在するのです。このことを国民全員が改めて意識し、その人達に感染を広げないエチケットを継続することが引き続き大切であるということです。一言で言えば、ハイリスク患者に対する心配りです。

引き続きやることは同じ！



- ◆ 風邪っぽい症状がある時に人に風邪を移す様な行動はさけましょう。特に、ハイリスク患者とは距離を取るなど心配りをしましょう。
- ◆ 気道症状があればいかなる場合でも咳エチケットを守りましょう。
- ◆ 病院などハイリスク患者が集まる場所では引き続き、マスクの着用を推奨します。また、手指衛生、換気、密集を避けるなどの対策もこれまで通り継続です。

5類移行した今、全国民の活動を制限する時期はもう過ぎました。ただし、これから問われるのは、要所要所での他者への気遣い・心配りだと思います。日本人ならではの優しさを発揮していただきたいと思います。

病院の日・看護の日

岡山県では、フローレンス・ナイチンゲールの生誕の日である5月12日を「病院の日・看護の日」とし、今年からは5月7日から1週間を「看護週間」と定めています。
津山中央病院では、今年もいろいろなブースを設けイベントを行いました。



病棟事務スタッフ
生演奏



リハビリテーション部
ミニコンサート



看護部ブース



カルヴェータブース



院内学級ブース



歯科ブース



臓器提供ブース



薬剤部ブース



栄養管理部ブース

連携登録医懇親会について

当院は、地域医療支援病院として地域医療を守るためには地域の先生方、医療関係者の方との緊密な連携が不可欠と考えております。つきましては連携を深めるために行ってこられた連携登録医懇親会もコロナ禍で中止を余儀なくされておりましたが、令和5年度より再開させていただきたいと存じます。

例年11月に開催しておりましたが今年度は8月に前倒しをして開催する予定です。開催日等詳細につきましては、決定次第早急にご連絡いたします。

画面越しではなく、実際に顔の見える関係を深めたいと考えておりますので、地域の先生方の多数のご参加お待ちしております。



面会(入院患者)のご案内

津山中央病院では、新型コロナ5類移行、感染状況を鑑みて5月22日より入院患者への面会を再開いたしました。療養環境の質向上のため、感染対策には十分に配慮しつつ面会再開を行ってまいります。

面会（入院患者）を 予約制にて再開いたします

令和5年5月22日（月）より、面会（入院患者）を予約制にて再開いたします。これまで新型コロナウイルス感染症対策のためやむを得ず禁止しておりましたが、流行状況が落ち着いていることと5類感染症へ移行されたことを受けて、再開することになりました。しかしながら新型コロナウイルス感染症は高齢者や基礎疾患のある方は、そうでない方と比べると重症化のリスクが高いことはこれまでと変わっておりません。このため以下のルールに従ってご面会頂くことになりますのでご了解ください。

面会のルール

① 必ず予約してください（当院のホームページから予約できます）

面会受付ページ

<http://www.tch.or.jp/visitation.html>

※ホームページからのお申込みが難しい場合は

電話での予約も可能です（平日 11時～17時のみ）



② 来院されたら、必ず受付で申込用紙を記入してください

③ 面会できる時間帯は13:00から17:00です

④ 1回の面会時間は20分以内です

⑤ 1人の患者さんに1度に面会できるのは2人までです

⑥ 1人の患者さんに面会できるのは週に1回までです

⑦ 各病棟で面会頂けるのは1時間に2組までです

⑧ 面会場所は、原則、個室病室もしくはデイコーナーです

※移動が困難な方は、大部屋で面会していただけますので病棟にて相談してください（患者さんや病室の都合で面会できないこともあります）

⑨ 風邪症状など感染症を疑う症状があれば面会できません

⑩ 受付でお渡しする許可証を着用してください

⑪ 館内では必ずマスクを着用してください

⑫ 小学生以下は原則ご遠慮ください

令和5年5月17日
津山中央病院 病院長

セミナー・講演会情報

●CC セミナー（Web 併用のハイブリッド形式）

講演 『一般医家からみた尿路結石のマネージメント -診断・治療・再発予防など-』

- ・講師 泌尿器科 副院長 明比 直樹 先生
- ・日時 2023年6月13日（火）19：00～20：00
- ・場所 津山中央病院 研修センター2F 講義室

●重大医療事故発生時初期対応想定訓練 ※日本専門医機構認定共通講習（医療安全）

講演 『～異型輸血～』

- ・日時 2023年6月28日（水）18：00～19：00
- ・場所 津山中央病院 健康管理センター3階 記念ホール

地域連携室からのお願い

～紹介元医療機関からの予約について～

- ◆紹介予約は原則お電話ではなく、『紹介予約申込FAX用紙』をご記入の上、**FAX**にてお送りください。
- ◆『紹介予約申込FAX用紙』は**FAX**前にチェック項目に漏れがないかを今一度ご確認いただきますようお願いいたします。
- ◆来院当日は紹介状とお薬手帳をご持参いただきますようお願いいたします。

お申し込み先

津山中央病院 地域連携室

●受付時間：平日 8：30～17：00

（※整形外科、手外科は 16：00 まで）

●FAX：(0868) -21-8201（直通）

TEL：(0868) -21-8111（代表）

内線：3842・3843

※時間外のお申し込みは、翌勤務日のお返事とさせていただきます。

※土曜日・日曜日・祝日・12月31日～1月3日は受付を行っていません。

